



題字・イラスト：会員 加藤 比呂志

# 紺 碧

早稲田大学校友会 調布稲門会

調布稲門会 会報
2011.6 No. 34号
事務局 調布市若葉町2-22-10
元木 勇 気付
Tel 03-3300-4554
Fax 03-3300-8728
編集責任者 吉田 忠洋

## 第30回 調布稲門会 総会報告

河野 瑠美 (昭36 教育)

第30回調布稲門会定例総会は5月28日(土)午後2時より、調布文化会館(たづくり)12階大会議場で開催されました。出席者はご来賓も含め80余名でした。

舞木副幹事長・天野副幹事長の司会で開会の辞、物故者追悼では病氣療養中のところ、去る4月に逝去された野口邦子様(昭和34、教育)並びに東日本大震災による数多くの犠牲者に対し哀悼の意を捧げ、黙祷いたしました。

次に、議長に安松 董矩幹事を、議事録署名人に野村大也幹事を選任し、議事に入りました。2010年度会務報告(元木会長)、会計報告(椎原副会長)、会計監査報告(川岸・早川 監査役)がなされ、次いで2011年度会務計画案及び収支予算案が原案通り承認され、元木会長が引き続き二期目の会長として選任されましたが、幹事長候補の島野一彦幹事が総会直前に体調を崩されたため、今期も幹事長は空席のままとなり、島野氏快復後幹事長着任期待となりました。

次に、東日本大震災への取り組みについて、当稲門会の義捐金 ¥100,000.-は早稲田大学を通じ日本赤十字社

から被災地へのルートを選んだ旨元木会長から説明がありました。

今年度の新入会員は11名で、当日出席の5名の新会員(山本建治、吉田忠洋、野部肇、渡辺千尋、常見宏一)が各々の抱負を語りました。

調布市長はじめ本校、市内他大学校友会、多摩南部地



区稲門会からの来賓の紹介に続き、早稲田大学内田勝一副総長よりご挨拶を頂きました。その中で、アジアの早稲田、世界の早稲田として国際的な地位を確立すべく鋭意努力をしておられ、併せて校友の支援を是非お願いしたいとのことでした。次

に、調布三田会柴田精一会長はご挨拶の中で慶応野球部の優勝があと一勝と成ったことを幸せそうに話しておられたことが印象的でした。最後に、稲門祭について担当の岡田幹事から説明と参加への勧誘がなされ無事第一部を終了しました。

第二部は調布市防災課職員を招き、「災害への普段の準備と避難」について講演して頂きました。大震災後でもあり、全員真剣に聞き入り大変有意義であったかと思いま

す。(講演内容は別掲)

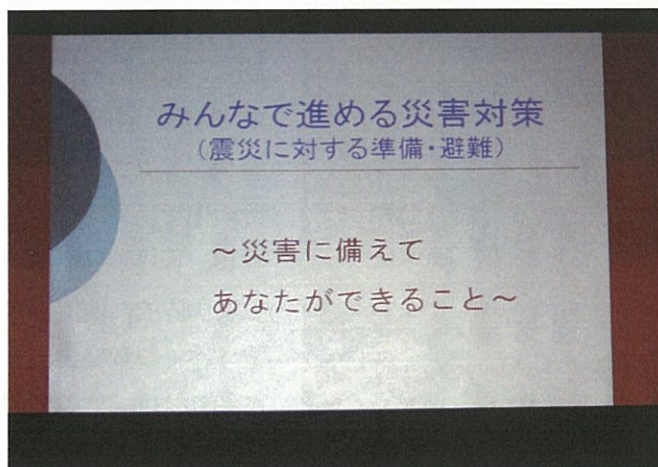
第三部の懇親会は、天野幹事、涌田幹事の司会で始められました。最初に、早稲田大学政経学院佐々木裕康事務長よりご挨拶があり、今年度の授業開始日程を遅らせた経緯や授業開始後の早稲田大学生による被災地でのボランティア活動の様子などを語って頂きました。次に、調布市長友市長よりご挨拶を戴きましたが、3月11日の震災当日、調布駅周辺に集まった帰宅困難者に市の公共施設を提供した件や福島原発事故からの避難者を味の素スタジアムに受け入れた経緯、また、その後の計画停電では市役所に市民からの電話が殺到し、職員が忙殺され

た事などについて話をして下さいました。続いて、中央大学学会調布支部幹事長佐々木国夫様のご発声で乾杯、開宴となりました。尚、食歩会リーダー山田和子幹事の発案で食歩会会員有志が山田家に集まり、二日掛りで手作りした大量のパウンドケーキ、プチドラ焼きなどで東日本大震災の被災者への義捐金をお願いしたところ、ご来賓を含む多数の出席者のご賛同を賜り、総額で¥79,000.-となりました。全額早稲田大学校友会を通じて被災者の支援に充てられることになりました。最後に、秋沢幹事の指揮の下に校歌を斉唱し、盛況のうちに無事定例総会、懇親会ともに終了することが出来ました。

### 講演会「災害への普段の準備について」

堀内 正之 (昭46法)

5月28日調布稲門会第30回総会講演会において調布市防災課の担当者による講演会がありました。プロジェクターを使ったわかりやすく有意義なお話を簡単にまとめてみます。



■ まず災害発生時、調布市のライフラインの被害予想から講演は始まりました。

断水は市の面積割合で約28%に発生し、復旧に16日かかる予想です。以下、下水は約16%で19日。トイレが心配ですね。停電は約8%で復旧に6日。

ガスについては何と被害0という予想でした。ただし自動停止するので再開の安全確認にどれくらいの日数を要するかは不明とのこと。カセットコンロはあつたほう

が良いですね。

■ 救助についてのお話です。

何よりも自分が助かってください、とのこと。御身お大切に、だけではないのです。視点が違います。救助の約80%は近隣住民によるものだそうです。そして、一人助けるのに3人必要とするとのこと。つまり、他人や自治会に迷惑をかけないためにも自分が生き残る、自助の努力が大切ということです。



■ 近隣や自治会での共助。

街頭にある消火器は町内会以外の通行人が使っても良いそうです。

ただし、噴射時間は10秒と短いので、火の元にしつ

かり噴射することが大切。

避難場所も確認しましょう。家庭での簡易消火器の置き場所・消費期限は大丈夫ですか？確認しましょう。

#### ■ 事前準備についてです

水は一人一日3リットル計算で最低3日分は備蓄すること。

簡易トイレが売られています。両手が使えるヘッドライトは便利。怪我しないための軍手や靴。

そして何よりも家族間での話し合い=認識の共有化が大切とのことでした。

連絡方法は？集合場所は？災害時の役割分担は？地震発生時の家屋内避難場所=テーブルの下は全員もぐれるか？あふれた人の逃げ場所は？

家具の転倒防止はしてあるか？Etc. etc.

自治会など、人数が集まれば「無料出前講座」として市から講演に来てくれますので、総会に出席されなかった方はそれをご利用されても良いかと思いました。

## 紺碧の広場 会員エッセイ

### 「あの事故から30年 そして食・歩会のこと」

山田 和子 (昭49文)

あれから10年そして20年と、10年単位を節目の年としニュースが流れてきます。昨年還暦を迎え、私もいろいろと振り返ってみました。

私にとって何と言っても大きな節目は、1981年8月22日に台湾で起きた飛行機事故です。(乗客・乗員110名全員死亡)その中に作家の向田邦子氏がいました。同行したのは、当時私が勤めていた会社の社長と女性スタッフ2名。私がおうちの一人の可能性も十分にありました。それから今年で30年です。

当時写真家の篠山紀信氏と進めてきた報道写真集シルクロード全8巻の出版が始まり、その一連の流れで向田邦子氏とシルクロードに関する出版の話が持ち上がっていました。そして一緒に台湾へ取材旅行に行き、その事故に巻き込まれた次第です。

本当は敦煌莫高窟に行く予定だったのですが、現地の洪水の為、代わりに行った先が台湾でした。社長個人の資質に負う事が多かった会社は2年を掛け清算、私は結婚し、その後家族と5年間のイギリス暮らし、帰国後は中高生の英語教室を開き現在に至っています。

調布稲門会には2004年に入会し、2005年に女性限定

の食・歩会を立ち上げました。会のメンバーは現在30名です。年2回、おいしい料理をいただき、その前後に街の散策や美術館へ立ち寄りたりして楽しんでいます。

毎回、思いつくまま行く場所を決めているのですが、昨年の秋の食・歩会の集いは第10回記念として、個人的に思い入れのある日本民芸館を選びました。30年前の最後の仕事の一つが李朝民画の出版だったことによるものです。さらに第10回目の集いには、初めて男性にも声を掛けました。しかし反応が余りなかったのが残念でした。

年2回の散策の他に、年1回私の家でお茶会を行っています。ただこの2年間、私の都合で開催出来ず、2年分の会の活動費2万円が残っておりました。東日本大震災の被災者の方々に食・歩会として何か少しでも役立つ事が出来ればと、本年度分活動費1万円と合わせた3万円を材料費として調布稲門会総会での募金の為のお菓子作りを2回に分け、お茶会も兼ねて行いました。

募金に提供出来たお菓子は、バナナケーキ(36本) 抹茶ケーキ(33本) だら焼き(2個入、157組) 豆腐マフィン(2個入、20組)、それに河野顧問からの小物類が

加わりました。総額9万7千円もの募金が集まり嬉しい限りです。

総会で募金にご協力して下さいました方々に心からお礼申し上げます。

以下は、今までの食・歩会の集いで散策した主な場所と会食したレストランです。

散策； 神楽坂、渋沢資料館（青淵文庫、晩香廬）、旧白洲邸武相荘、目黒雅叙園百段階段、東御苑、スカイバスツアー（皇居、銀座、丸の内）、日本民芸館

会食； ルセーナ館（原宿）、小笠原伯爵邸（新宿河田

町）、マダム・トキ（代官山）、とうふ屋うかい（芝公園）、ヒロチェントロ（丸の内）



### 「英語で話をしませんか」

福井 浅子（昭49 社会学）

私の英語歴を紹介したいと思います。私は中、高、短大と英語を教えてきましたが、昭和三十年代から平成初年代当時は、英会話の授業がなく話す機会がありませんでしたので、私自身そのためか下手でした。これでは英語の先生としては失格だと思い、一念発起して、アメリカのセントルイスにあるワシントン大学で社会福祉を学び、次の年にコロンビア大学にトランスファーし社会学と女性学を学ぶうちに、少しは英語で話せるようになったわけです。

早大社会学部に学士入学する以前に英文科で教員免許状をとっていましたが、帰国後再び英語を新宿区の高校での文部省推薦の成人学級を受け持つことになり、アメリカ人のインストラクターとペアーを組んで教えたことがあります。リタイアしてからは英語を話す機会が少なく、言葉を忘れるばかりです。

「言葉は生きもの」とよく言われますが、そのとおりだと思います。そこで、英語を忘れないために日常会話

で話してみたい。そして同じお考えをお持ちの方々と楽しい時を持ちたいし、世界的に視野を広げ、海外旅行をした時など現地の人々と自由に話をしたりそのお国や町の状況を知ることができたら素晴らしいし、経済、社会、政治、その他のことを放せたらいいなと思います。

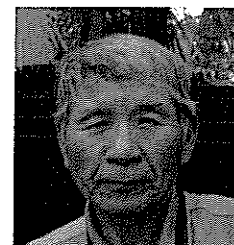
私は英語を話したことがない。はずかしい。などおっしゃる方がいらっしゃるかもしれませんが、関心さえあれば、ロールプレイやフリートークや、色々な方法で馴れていけるものです。その方法や皆様が考えていらっしゃる事、旅行した時のこと、などを話しませんか。

とりあえず7月19日（火）と21日（木）に調布文化会館たづくり11階コミュニティ室にお集まり頂ければと存じます。出欠席のお電話を、7月10日（日）迄に頂ければ幸いです。

連絡先=電話 042-499-2130、福井 浅子宛

## 「愛するものとの別離」

村上 勉 (昭42 教育)



私は20年近く前、一匹の仔犬を飼うことになった。  
その犬は生まれて2ヶ月位で胴体が黒、足が白い柴犬の雑種であった。

娘が高校への登校途中、道路に迷い出たのを、可哀そうなので“拾って”戻って来たとか、家に放り込んで学校に行ってしまった。

大きさは20センチくらいでアンバランスに足が太く、これは多分大きくなるだろうとの予測に違わずあくる日から毎日見る見る大きくなった。

この仔犬は妻の希望で「むぎ」と名付けその日から一躍家中の中心的な存在になっていった。大きくなるに付けマンションで飼うには階段の昇降や吠え声などで難しくなってきた。

ある日「むぎ」を調布の多摩川土手に散歩に連れて行った時、そこが大変気に入った様子なので、結局マンションを引き払い多摩川近くの一軒家に引越することに。

「むぎ」は犬の中でも極めて優秀で「お前頭がいいんだナ!」何度も話しかけ、感心させられたか分からないほどの利口な犬であった。犬の散歩は楽しくもあったが、厳冬期の朝晩は結構苦痛だった。特に真冬の深夜帰宅玄関を開けると「やっと帰ってきたか、待ってたよ」と言う顔で出迎えられると、防寒着との着替えもそこそこに、多摩川の河原に引っ張って行かれたものである。

犬の一生は人間の5~6年に当たるらしいから、我が家に来てから16年少々が過ぎ人間なら80歳を超えたことになり2年前の8月7日黄泉の国に行ってしまった。

小生も今66歳になり仮に80歳まで生きるとしても、犬と共に過ごして来た日を思うと、今の日々の虚しさを禁じ得ない。在職中は会社に行っている時間以外、定年後は寝るときを含め殆どの時間を一緒に過ごした愛犬との別離は相当に辛いものがあった。

ところが本年2月8日、この犬を連れてきた長女が突然天国に逝ってしまった。

37歳の若さ、子宮癌と6ヶ月余り闘ったが、病気には勝てなかった。

看護師でありながら何故検診を受けなかった!の怒りをどこにぶつければ良いのか!。

子供の何よりの親不孝は親より先に逝く事。子供に先立たれた親はこれから先、何を頼りに、何を思って生きていけばよいのか?!。愛犬の死よりもっと辛い、こんな恐ろしいことがこの世にあらうとは思ってもよらなかった。

今は娘が可愛がり先に逝って待っている「むぎ」との再開を喜び、親に向かって「むぎちゃんと一緒にだから、淋しくないヨ」「心配しないで私の分まで頑張って生きてネ」と言っていると思って、生きていくしかない。

## 「朝顔作り40年」

小笠原 忠八郎 (昭40 商)

暑い暑い夏を魅了する花は、何といたっても朝顔に優る花は無いでしょう。種子まきから丹精こめて育てあげ、一番難関と言われる梅雨期を見事クリアして激暑突入の頃のあのすがすがしい可憐な涼花を見た瞬間、その喜びは格別であります。

朝顔作りを始めたきっかけは、サラリーマンとして旭化成(株)名古屋支店へ勤務した頃、昭和45年頃「熱田神宮」で名古屋式大輪盆養朝顔(花径20cm)を30種類くらい初めて見た時のおどろきと作って見たいと思ったときから、40数年続けて居ます。

近頃園芸愛好者が朝顔の鉢づくりは成る程難しいが、一苦勞してみよう!と志す人が増え始め静かなブームをおこして居ります。大変たのしい傾向だと思ひます。想えば、私等も初心時代、ご先輩各位の愛情にすぎりその技法の伝授を仰ぎ何時の間か自分自身、朝顔の虜となった今日、この恩恵を思ふ時、ご恩返しの一端として、後進の育成を行うことこそ、我々会員の心がまえと思つて居ります。

調布上石原の自宅屋上で約200鉢の朝顔を作つて居ります。私の所属する会は、名古屋朝顔会(8年)、東京朝顔研究会(33年)現副会長で、お世話をしています。

この会の歴史は、明治40年創設されました。当初は変化朝顔を主体した千名の会員を擁する最大の同好会で、名花珍花を作出発表して居りました。昭和に入り、昭和7年、日比谷公園で初の東京市民朝顔展を開催、待望の六寸(18cm)余の朝顔が開花した。この大輪花の実現は絶賛好評を得て、本会の朝顔はそれ以後、大輪朝顔栽培に大きく傾斜して行きました。

昭和21年5月、戦後間もない東京はまだ一面の焦土で、衣食にも事欠く混沌たる時にも拘らず、進駐軍マッカーサー司令部は、日比谷公園で日本の花「朝顔」と「菊」の展示会を要請しました。

昭和27年、種子も資材もままならぬ、折りしも、7月27日～8月3日にかけて全国の同好会に先駆けて日比谷公園で復興第一回展示会が開かれました。

昭和39年東京オリンピックを契機にテレビカラー化は朝顔愛好者の拡大と関心呼び起し、大きな恩恵を受けました。昭和40年8月2日、NHK・TVカラー番組

「スタジオ101」で色彩豊かな涼味満点の優秀作品を日比谷公園展示場より15分間も全国に実況し、本会の名声は全国に高まりました。

昭和54年、会員数は975名となり、名実日本一の朝顔会になり、その年その後の会を支える塚越、芦沢、小笠原が入会しました。

昭和59年、農林大臣賞を切り込み作り、初瀬(朝黄縞)で小笠原が受賞しました。

平成15年、特筆すべき「江戸開府400年」と「日比谷公園開園100年」の記念事業に協賛して、特別展示会を開催しました。以上が東京朝顔研究会の歴史であります。

遙かに千年を超して今がある朝顔です。高貴葉から発見され、清楚さが人の目にとまり、多種多様なきれいな花を生み出し、さらに大輪の花が鮮やかに咲いてきました。

本会では、25.2cmの超大輪朝顔の作出にも成功しました。

これまで作ってきた朝顔は希な育種技術と大らかな趣味人に支えられ、美しい花に育てられた一面があります。何かにつけて昨今ゆとりが失われつつありますが、一人でも朝顔作りに目を向けてもらいたいものです。

本年は日比谷公園で7月28日(木)～8月3日(水)まで、朝8時～12時に開催しています。ぜひお出ください。小笠原毎回居ります。ご指導もいたします。

\* (編集者註) 小笠原氏撮影の朝顔の写真(カラー刷り)を最終ページに掲載しております。

## 我らの同好会活動

### 「テニスのおすすめ 硬式テニス同好会」

五十嵐 眞(昭37理工)

テニスはコートを走り回る激しいスポーツでは?とよく聞かれます。

テレビで見るテニスの試合はまさに格闘技でアスリートの戦いですが、プロと異なりアマチュア中高年のプレ

イは全く異なります。テニスコートの半面は横約11m、縦約12mです。これをダブルスの場合、2人で守ると一人あたり、5.5m x 6mが守備範囲で、この真ん中に立って手を伸ばしさらにラケットの長さを加えると、前後

左右、大きく一歩ふみだすだけでほぼカバーできます。従って走り回ることほとんどなく息も切れません。80代はおろか90代まで十分楽しめます。また、テニス



稲門会テニス 深大寺コート 2011.4.29

を始めるのは60歳半ばを過ぎてからでも可能です。公式試合と異なり短いゲーム数でダブルスでプレイするので技量も平均化し初心者の方が加わっても十分楽しめます。

ゴルフは自分自身に全責任がありますが、テニスではパートナーとゲームの相手がいるので、自分がミスをし

てもパートナーが助けてくれたり、相手がミスをしてくれたりで、大変面白い展開となります。

わが調布稲門会公式テニス同好会ですが、最長老の川島さん（喜寿）以下、約20名弱おられます。毎週月曜日と金曜日の10時から12時までが定例となっており、調布市のテニスコートが会の幹事の中村輝夫ご夫妻により抽選で確保されています。

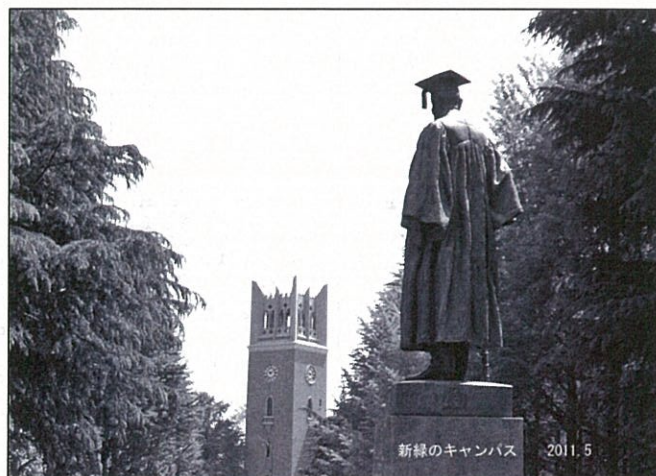
毎月、確保できた日とコートがメール/FAXで連絡され、各メンバーが自分の参加したい日を回答する形になっていて、毎回、6、7名前後、プレー費はコート代が一人100円から200円です。ボール代は別途稲門会からの補助と会費で充当しています。

まずは青空のもとでの楽しいプレイへの参加をおすすめします。

### (各同好会・代表者)

囲碁・将棋： 塩沢 誠 042-484-1505  
 早川 政夫 042-487-9610  
 大谷 暢廣 042-481-0202  
 カラオケ： 小笠原 忠八郎 042-481-6867  
 ゴルフ： 香山 弘之 042-482-6994  
 ワンゲル： 舞木 孝治 042-486-0665  
 天野 凡子 042-480-2503

社交ダンス： 島野 一彦 042-484-7866  
 太極拳： 中野 完二 042-485-0523  
 麻雀： 濁川 寿次 042-483-6966  
 硬式テニス： 村上 勉 042-441-5151  
 食・歩会： 山田 和子 042-488-0741



新緑のキャンパス 2011.5

朝顔 (小笠原忠八郎氏撮影)



今年の主な行事日程

- 2011.10.16 (日)  
稲門祭ホームカミングデー
- 2011.12.4 (日)  
調布市福祉まつりバザー

(編集後記)

香山様、山崎様、長年に亘り、会報『紺碧』の編集にご尽力戴きまして有難うございました。おかげさまで何所に出しても恥ずかしくない立派な会報の歴史であったと思います。お疲れさまでした。

今回リタイアされ、新しくリーダーとして、吉田君と、図らずも小生がお手伝いすることになりました。吉田君はまだ歳も若く経験も少ないようですが、なかなかのファイトマンでやる気充分です。

先輩方の残された功績を踏襲して、より素晴らしい会報にしていきたいと、兩名決意を新たにしております。ご期待いただき、これからも変らずの、ご指導ご鞭撻をお願い致します。(村上記)

今号より、『紺碧』の編集を拝命しました。精一杯頑張りますので、ご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。(吉田記)

<p>旭化成建材(株)指定工事店 外壁塗装・屋根塗装 <b>株式会社住まいるスズキ</b> 代表取締役 鈴木 光孝 〒182・0023 東京都調布市染地三・五・六五 電話 〇二〇・〇八〇・二四二</p>	<p>深大寺そば 創業文久年間 ～宴会・俳句会・御法事 <b>元祖 嶋田家</b> 住所 〒182・0017 東京都調布市深大寺元町五・十二・十 電話 〇四二・四八二・三五七八 FAX 〇四二・四九九・六六五五</p>	<p><b>桜田倶楽部</b> 東京テニスカレッジ 会長 秋山 一 昭和22政経卒 住所 〒182・0017 東京都調布市深大寺元町二・三二・一 電話 〇四二・四八二・二二〇九</p>	<p>思いをカタチにするそれを支える プロの技がここにあります 冠婚葬祭・出張料理・パ・ティ料理・会席料理 <b>アジサイワールド(株)</b> 電話 〇二〇・五五五・五八五 FAX 〇四二・四九九・七八八 http://www.ajisaiworld.co.jp</p>
<p>不動産賃貸 <b>中村不動産管理株式会社</b> 代表取締役 中村 俊一 住所 〒182・0035 東京都調布市上石原一・一〇・一 電話 〇四二・四八二・二〇三三</p>	<p>早稲田大学商議員 早稲田大学調布稲門会 会長 元木 勇 自宅 〒182・0003 調布市若葉町二・二二・一〇 電話 〇三・三三〇〇・四五五四(代) FAX 〇三・三三〇〇・八七二八</p>	<p>新しい食文化を創る <b>株式会社山田屋本店</b> 代表取締役社長 秋 沢 淳雄 住所 〒182・0024 東京都調布市布田三・一・一 電話 〇四二・四八二・四五八五 FAX 〇四二・四八二・四五七二</p>	<p><b>林建設株式会社</b> 取締役社長 林 清一 住所 〒182・8512 東京都調布市小島町二・五六・三 電話 〇四二・四八六・一一一一 FAX 〇四二・四八六・一一二〇</p>